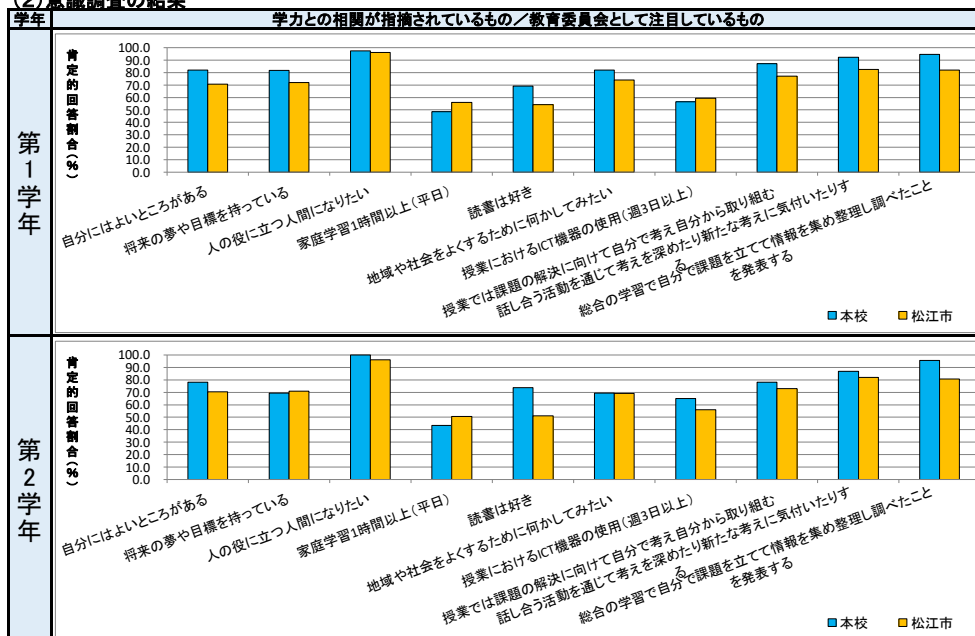


(1)教科調査の結果

学年	教科	分析(成果○/課題●)	改善策(●)
第1学年	国語	成果 ○文章の構成を捉え、要旨を把握できる生徒が多い。 ○情報の扱い方に関する事項で、推定全国値を上回っている。	・漢字テスト、文法テストを授業で行い、漢字や文法の知識の定着を図る。 ・様々な文章を要約し、自分の言葉でまとめる課題を行う時間を多く設ける。
		課題 ●漢字、文法の知識の定着に課題がある。 ●目的に応じて必要な情報に着目して要約する力が不足している。	
	数学	成果 ○全領域において市町村よりも高いスコアとなった。特に知識・技能が高く、数学的な基礎学力が定着している生徒が多い。	・成果をより伸ばすために、基礎・基本が定着できる授業を続ける。 ・課題を改善するために、長い文章を読解する必要がある問題に多く触れさせ、経験を積ませる。
		課題 ●思考・判断・表現のスコアが市町村よりも5.1%低い結果であったため、長い文章を理解して問題に取り組む力を付けさせる必要がある。 ●文章とグラフ・比例反比例につなげるたり、文章から方程式を導き出したりする力が低い生徒が多い。	
	英語	成果 ○リスニングによる内容理解の正答率が高い。 ○並べ替えによる英作文は正解している生徒が多い。	・授業の中で、学習した表現を使って話したり、書いたりする時間を増やす。 ・初見の英文を読む時間を時折設ける。
		課題 ●英文を聞いて適切に回答する、場面に応じて英文を書くといった問題の正答率が低い。 ●さまざまな英文の読み取りができていない生徒が多い。	
第2学年	国語	成果 ○文法や語句の意味など、学習の基礎がしっかりと身に付いている。 ○伝えたいことがわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開を工夫できる生徒が多い。	・細かい文章の読み取りをする時間を増やし、表現に即した解釈ができるような力を身に付けさせる。 ・話したり、聞いたり、書いたり、読んだりを組み合わせる、複合的で豊かな言語活動を、授業の中で習慣化させたい。
		課題 ●文学的文章の読み取りが苦手な生徒が多い。 ●知識は身に付いているが、なかなか記述や要約などの表現に生かしていない。	
	数学	成果 ○式の計算、図形の性質、証明を理解している生徒が多い。	・成果を伸ばすために、基礎・基本が定着できる授業を続ける。 ・課題を改善するために、長い文章を読解して課題を解決するような問題に多く触れさせる。
		課題 ●知識・技能は市町村とほぼ変わらなかったが、思考・判断・表現が6.3ポイント低い結果となった。 ●長い文章をよく読んで連立方程式にしたり、文章題を一次関数のグラフや式につなげたりする力が低い生徒が多い。	
	英語	成果 ○リスニングによる内容理解の正答率が高い。 ○最近学習した表現の並べかえによる英作文は正解している生徒が多い。	・授業の中で、学習した表現を繰り返し使う時間を設ける。
		課題 ●英文を聞いて適切に回答する、場面に応じて英文を書くといった問題の正答率が低い。	

(2)意識調査の結果



＜傾向と今後の対策、分析＞

成果○：強み/伸ばしたい点 について
課題●：弱み/改善を要する点 について

【第1学年】

- ペアやグループ活動を行い、対話することを通して考えを深める力が付いてきている。
- 自分にはよいところがあると答えた生徒が多く、自己肯定感が高い。
- 家庭学習が1時間以上の生徒の割合が低い。
- 授業におけるICT機器の使用頻度を増やしたい。

【第2学年】

- 「読書は好き」と回答した生徒の割合が高く、本を読む習慣が身に付いている。
- 家庭学習の時間が1時間以上の生徒の割合がやや低い。

【R7学力調査受検者数】

第1学年	39	名
第2学年	23	名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示